

事務事業評価表

○基礎情報

課名	議会事務局	作成責任者
施策目標	-	村上 穰介

常勤		その他		
職員数	再任用フルタイム職員数	再任用短時間職員数	臨時職員数	非常勤嘱託職員数
12	0	0	1	1

時間外勤務時間	
総時間	一人あたりの月平均
2,445	22.6

評価の見方

- S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
 B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
 D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
 Z 未着手事業
 A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
 C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
 E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった

2 事業実績(平成27年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事務区分	実績			従事者数	会計区分	H27予算 H27決算 (千円)	事務事業の指標名	H27目標値	H27実績値	評価	業棚選定
		何を・誰を(対象)どうする(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行政改革								
1	議会の調査活動の充実	議員の調査研究に資するため	自治事務	●			1.61	一般	16,885 ----- 13,815	政務活動費関連事務、各種調査、資料作成等を適切に実施し、議員の調査研究に資することができた。			S	
2	会議映像配信システム	本会議及び委員会(新庁舎)での審議状況を広く市民に広報するため	自治事務	●			0.8	一般	1,491 ----- 1,091	本会議の生中継のほか、当日中には録画(速報版)中継を視聴することができるように編集作業等を迅速に行った。また、平成28年第1回定例会からは、常任委員会・特別委員会の映像配信も開始した。			S	●
3	議会の広報・広聴活動の推進	議会だよりの発行や、議会報告会・意見交換会の開催等により広報広聴活動を充実させ、わかりやすく、開かれた議会の構築を目指す。	自治事務	●			0.99	一般	4,828 ----- 4,827	議会だよりの定期号(4回)・臨時号を発行したほか、より見やすい紙面とするため、紙面の刷新についての検討を広報広聴委員会でを行った。議会報告会及び意見交換会を11月に開催し、議会活動の報告及び各テーマについての意見聴取を行うことができた。			S	
4	議会図書室の管理運営	議会図書室の維持管理と、必要図書類の購入	自治事務	●			0.21	一般	300 ----- 264	地方自治関係図書や白書類を中心に議員の調査研究に資する図書選定を行い、管理運営も適切に行った。			S	
5	議会の運営	定例会及び各種委員会等の運営及び会議録作成事務を円滑かつ的確に行う。	自治事務	●		●	3.14	一般	5,406 ----- 4,968	定例会及び各種委員会等の会議を適切に運営し成果を上げている。			S	●
6	議長会関連事務	地方自治の本旨に沿い、都市間交流の発展を図る。	自治事務	●	●		0.34	一般	1,458 ----- 1,458	適切に対応し、支出も適正である。			S	
7	議会制度の検討	議会制度の見直しに係る会議の開催と、それに伴う議会改革に向けての活動をサポートする。	自治事務	●			0.94	一般	0 ----- 0	新庁舎での議会運営をどのようにするかを中心に検討を行い、それぞれの課題に対する一定の結論を出した。			S	
8	議員の報酬及び手当等に関する事務	議員への報酬・期末手当を支給するとともに、共済組合負担金の支払いを適正に行う。	自治事務				0.11	一般	312,139 ----- 306,812	適正に支出している。			S	
9	議会の交際等に関する事務	正副議長等の各種行事等への適正な対応を行う。	自治事務				0.58	一般	900 ----- 642	適切に対応し、支出も適正である。			S	

10	儀式交際等に関する事務	議長・議員の儀式への対応を、適正に行う。	自治事務				0.32	一般	----- 600 489	適切に対応し、支出も適正である。	S	
11	議会事務局に関する事務	議員・職員の人事、福利厚生、議員研修会、公印管理、議長賞、備品等の維持管理を適切に行う。	自治事務				1.78	一般	----- 4,721 4,538	適切に対応し、支出も適正である。	S	
12	ホノルル市・郡議会との交流	強固な友好関係を構築するとともに、お互いの抱える共通の課題について調査・研究し、課題解決を図る。	自治事務	●			0.7	一般	----- 4,138 1,230	交流の考え方をまとめ、友好議会協定を締結について合意を得た。	B	
13	大学等との連携	議会の政策立案能力向上等のため、大学等の知見を活用する仕組みをつくる。	自治事務	●			0.25	一般	----- 0 0	文教大学の公共経営実地演習の実施に向けた協議・調整を行い、覚書締結の目途が立った。	B	
14	無線LAN環境システム	議員の活動に資するため、会派控室にパソコンを設置し、インターネット環境等の整備を図る。	自治事務				0.8	一般	----- 5,277 3,682	議会棟のインターネット環境等を整備し、会派控室にパソコンを設置した。	S	
15	災害応急対策活動	大規模な自然災害が発生した場合、市議会として、迅速かつ的確な対応が図れるよう体制を整える。	自治事務				0.13	一般	----- 0 0	-	-	
16	庁内共回事務	-	自治事務				0.23	一般	----- 0 0	-	-	
17	部内調整事務	-	自治事務				0.14	一般	----- 0 0	-	-	
合計							13.1	予算 決算	358,143 343,816			

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>議会事務局の平成27年度業務棚卸評価シートによる総括セル数(事業数)は、「災害応急活動」「庁内共回事務」「部内共回事務」を除き14事業である。</p> <p>これらの事業の実施効果を検証すると、「S」が12事業、「B」が2事業となっており、いずれの事業も、概ね順調に事業が実施できたと考えている。</p> <p>一方、近年、全国的に議会改革が求められ、本市議会においても議会基本条例の施行に基づき、さらなる議会の改革や開かれた議会の推進が求められ、市議会を取り巻く環境は、変革期を迎えている。これに伴い、年々、新規事業が増加傾向にある。</p> <p>また、職員の時間外勤務に着目すると、総時間で2,445時間、一人当たりに換算すると月平均22.6時間となっている。しかし、前記のとおり、議会事務局としての業務は年々増加し、これに伴い時間外も増加傾向にあるが、限られた人工で、確実かつ効率的な業務遂行を心がけ、時間外勤務の縮減に取り組む必要がある。</p>	

4 新たな行政改革重点推進事業

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし		